

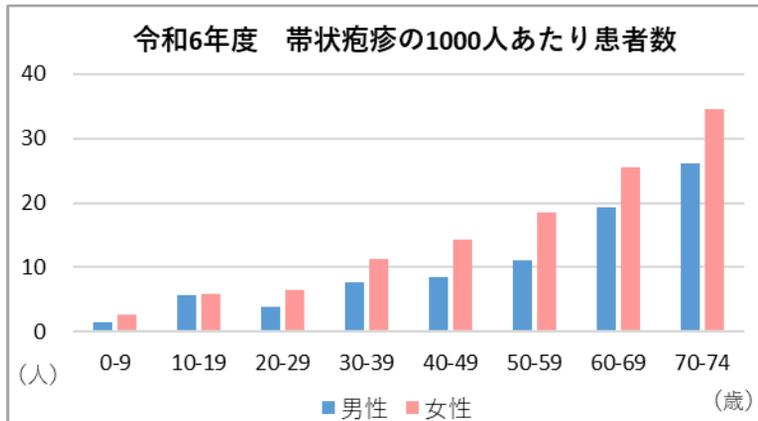


皮膚の痛みに要注意！帯状疱疹

紫外線や気温の影響で免疫力が低下しがちな夏は、帯状疱疹を発症しやすい時期でもあります。今回は、大人にとって身近な皮膚トラブルである帯状疱疹についてお伝えします。

■ 帯状疱疹（たいじょうほうしん）とは

帯状疱疹は、体の左右どちらかの神経に沿って生じる、痛みやかゆみを伴う発疹が特徴の皮膚疾患です。発疹は胸や背中、腹部など多くは上半身に現れ、やがて水ぶくれに変化していきます。周りの人に感染することはありません。



左のグラフは、建設連合国保に加入されている皆様における、令和6年度の帯状疱疹の1000人あたり患者数です。

30歳代から加齢とともに罹患割合が増加し始め、70歳代で最も高くなっています。また、男性より女性の方が罹患割合が高い傾向にあります。

【出典：健助 令和6年度レセプト分析データ】

■ 帯状疱疹の原因と予防

帯状疱疹の原因は、子どもの頃に発症した水ぼうそうのウイルスです。水ぼうそうの発症歴がない方は、帯状疱疹になることはありません。

大人になって加齢や疲労、ストレスなどによって免疫力が低下することで、潜伏していたウイルスが帯状疱疹として発症します。

加齢とともに発症するリスクは高くなりますが、規則正しい生活によって免疫力を維持することで、帯状疱疹を予防できます。



■ お住まいの市町村にて帯状疱疹ワクチンの接種を受けることができます

令和7年度より、**65歳以上の方などを対象とした帯状疱疹ワクチンの定期接種**が始まりました。定期接種の対象となるのは以下の方々です。

- ①年度内に65歳になる方
(令和7年度から5年間の経過措置として、その年度に70、75歳になる方も対象となります)
- ②60～64歳で、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障害があり、日常生活がほとんど不可能な方

ワクチンを接種できる医療機関や費用、申し込み方法などについては、お住まいの市町村にお問い合わせください。

【引用・参考】

- 1) [帯状疱疹ワクチン](#) 厚生労働省